



鶴居村

日本で最も美しい村議会

つるい 議会だより

子供たちの笑顔と未来のために



末は博士か村長か カバンいっぱいにくらむ夢

3月定例会

- | | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| ・新年度気になる事業 | P2～P5 | ・委員会・全員協議会 | P17 |
| ・厳しくチェック | P6～P7 | ・座談会 教育の鶴居 | P18～P19 |
| ・定例会・臨時会 | P8～P10 | ・読者の声 | P20 |
| ・一般質問 | P11～P16 | | |

子供とお年寄りに優しい予算

鶴居小学校改築(新)

鶴居小学校の改築費総額は12億円(平成24、25年度)



平成25年12月完成予定の鶴居小学校の改築工事が始まります。
今年度は、給食施設の改築工事と仮設校舎の建設工事が始まります。

新規

鶴居小学校校舎改築工事(1期)	7,412万円
鶴居小学校仮設校舎建設工事	6,845万円
鶴居小学校給食施設改築工事	31,349万円

平成24年度一般会計予算可決
前年比10.3%減の35億3500万円
(村長選挙の年ですので骨格予算となっております)

管内をはじめ、多くの自治体が敬老年金など見直しを行なった中で、本村は少しでも生きがいを感じて生活をして頂けるように、お年寄りに優しい施策を継続しております。

継続

敬老年金	816万円	温泉無料入浴券	258万円
長寿功労金	322万円	老人医療給付費	600万円



楽しい食事は長生きの秘訣

骨格予算

年間予算として政策経費を除き、人件費・扶助費等の義務的経費や継続費を主体に必要な最小限の収支のみ計上する予算。



顔の見える

IP告知システム



声が届く

4月利用スタート

村内無料
IPテレビ電話



またひとつ、村民の安心・安全な生活の充実が図られました。

情報通信整備事業は平成21年度から3年間で総額14億円の事業費が計上され、光ファイバー網とIP告知システムの通信工事が行われ今年4月1日から供用開始がされました。

新規

IP告知端末愛称募集	2.2万円
情報通信基盤運用支援委託	798万円
事業所等IP端末設置調査委託	598万円

注 目 事 業

新規

分譲地販売促進パンフレット
分譲地販売促進区画案内板製作
鶴居村移住セミナー運営委託
住宅フェア展示ブース等運営委託
187万円



ウエルカム
鶴居村

新規

日本で最も美しい村連合活動事業
(PRイベント・カレンダー1200部)
247万円

日本で最も美しい村づくり事業
(歳時記マップ1000部) 52万円

継続

日本で最も美しい村づくり講演会
51万円

注 目 事 業

新規 鶴居A団地公営住宅新築工事
(1棟6戸)
1億7,745万円



充実している
住宅環境

新規 村有住宅新築工事(1棟2戸)
3,555万円



年次計画通り

新規 パスポート交付用端末機購入費
(端末機 1台)
31万円



海外が身近に
感じます

新規 地域活動支援センター運営事業委託
(相談・職業訓練・地域活動他)
210万円



福祉充実の村へ

新規 子育てサークルひよこ会支援事業
(保育スタッフ配置他)
37万円



子供は未来の財産

新規 特産品化試験栽培事業
(ぶどう苗木50本他) 9万円



夢は鶴居産ワイン

新規 下幌呂コミセン駐車場照明増設工事
(駐車場照明灯 1基)
134万円



明るく安全な駐車場

継続 防災用備品購入
(保存食200食・ヘルメット) 43万円
非常用機器購入
(投光器・発電機・簡易トイレ) 148万円

継続 有害鳥獣被害対策事業
(報奨金・被害調査) 1,174万円

新規 消防無線デジタル化整備本部負担金
(基本設計・電波伝搬調査委託)
677万円

継続 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業
(ワクチン接種費全額補助金) 223万円



ご存知ですか、皆さんのためのサービスを

住民の皆様が直接申し込み、利用できる補助金制度

- | | | |
|-------------------|-------|-------------------|
| 1. 太陽光発電システム導入事業 | (総務課) | 5 件×21万円 |
| 2. チャレンジ支援事業 | (振興課) | 100万円 |
| 3. 合併浄化槽整備 | (住民課) | 5 人槽 2 基 7 人槽 2 基 |
| 4. やさしい家づくり助成金 | (住民課) | 1 件上限40万円 |
| 5. 電動生ごみ処理機 | (住民課) | 3 機×3 万円 |
| 6. 一般家庭木質ペレットストーブ | (産業課) | 2 台×15万円 |
| 7. 起業家支援事業 | (産業課) | 上限500万円 |

なお、起業家支援事業の様に、審査基準があり申請に時間がかかるものもありますので、担当課に十分な説明を聞いてご利用してください。



チャレンジ支援事業

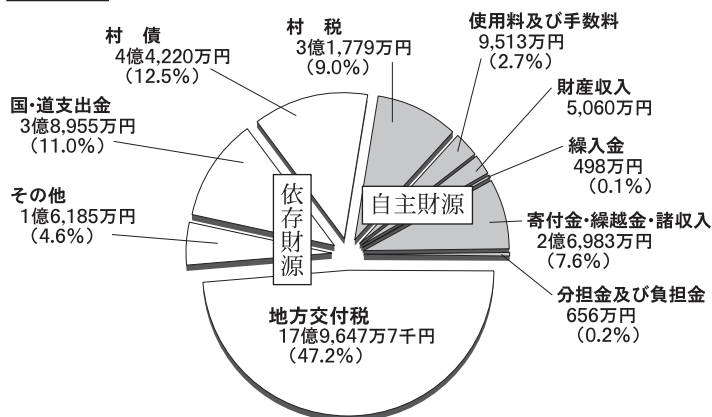
前年度各会計別比較

(単位：万円)

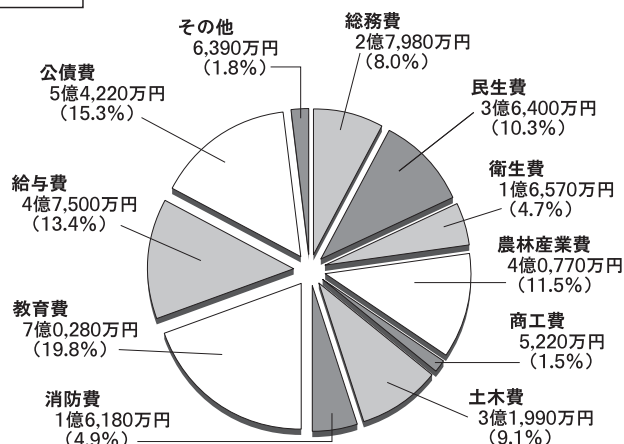
		歳入	歳出	前年当初	差引増減	前年対比
一 般 会 計		353,500	353,500	394,100	▲ 4,060	89.7%
特 別 会 計	水 道 特 別 会 計	3,320	3,320	4,030	▲ 71	82.4%
	農業集落排水事業特別会計	8,350	8,350	8,440	▲ 9	98.9%
	国民健康保険特別会計	33,520	33,520	33,070	45	101.4%
	診療所特別会計	8,440	8,440	8,170	27	103.3%
	介護保険特別会計	24,680	24,680	24,950	▲ 27	98.9%
	後期高齢者医療特別会計	2,820	2,820	2,430	39	116.0%
	小 計	81,130	81,130	81,090	4	100.0%
合 計		434,630	434,630	475,190	▲ 4,056	91.5%

平成24年度 一般会計予算

歳 入 歳入総額 35億3,500万円



歳 出 歳出総額 35億3,500万円



24年度一般会計予算Q & A

今年の一般会計予算審議は、「約100項目」に亘り白熱した質疑応答が行われ、一般会計予算だけで1日を費やしました。

厳しく チェック！

議会費

Q 議員共済費の支払対象者は？

A 在職12年以上が支給対象となっております。

総務費

Q 公用車車検の地元発注について

A 車両は各課で管理をしている。できる限り、地元発注をしているが、技術的にむずかしい物や特殊車両などについては鉦路市内業者に発注している。



車検を地元で

Q 喫煙所の設置場所は？

A 役場喫煙所については、自転車置き場の一部を改良して設置予定です。

Q 村チャレンジ支援の実

績は？

A 23年実績2件。幌呂環境整備と、商工青年部の役場前庭のイルミネーション事業で、さらに活用PRに努める。

Q ふるさと創生基金の残高は？

A 現在の基金残高は5、149万円で、低金利時代に入り平成12年度から原資からの取り崩しをしている。

Q 分譲地販売促進ブースについて

A 鉦路市内住宅展示場に年3回程度村の販促ブースを設置したい。

Q 移住セミナーについて

A 2回程度開催予定で、鉦路市内在住者を対象にしています。

Q 定住対策・印刷製本費について

A DVDのような、本村PRの際に視覚・聴覚にうつたえられるソフトメディア製作も検討する。

Q 情報通信基盤運用支援委託費約800万円の内訳は？

A 役場を親基地としサブ基地を「教育委員会・消防・各小中学校」とし、各施設

の教育訓練やマニュアルの作成費用であります。

Q 昨年は下幌呂土地利用計画が策定されましたので、今年は鶴居都市計画の調査費の計上を！

A 個人の土地等もあり、難しいです。

Q 日本で最も美しい村づくり北海道連携会議が発足いたしました、今後の事業計画は？

A 今年度から協議を進めてまいります。

Q 「日本で最も美しい村」をコンセプトに町づくり条例を策定すべきと思いますか？

A 今後検討をしていきます。

Q 事業所等IP告知設置調査委託費約600万円の内訳は？

A 事業所の数は100箇所ほどあり、これから業者が取りまとめを行います。

Q IP端末電話番号帳の作成は？

A IP電話帳は基本的に作成しないので、団体など

が必要な場合は、その団团长名で、役場に申請していただきます。



あとと便利な電話帳

民生費

Q 保育園に「特別な保育を必要とする子供たち」が17名になる様ですが、安全や指導体制には十分配慮を！

A 安全や指導体制には、十分配慮し保育を行います。

Q 地域活動支援センターについて

A 住民課と社協として2つの民間事業者との間で、自立支援連絡調整会議を立ち上げ、緊密に連携をとっていきます。

Q 福祉除雪サービスの基準緩和を！

A 現状では難しいです。

住民のための施策です！



Q 介護ヘルパー人員配置について

A 訪問介護利用者38名に対して嘱託職員2名とパート4名で、合計6名で対応している。

Q 福祉灯油の価格高騰の対応は？

A 当面現状維持といたします。

衛生費

Q こんにちは赤ちゃん事業について

A 従前事業の拡充であり子育て中のお母さんたちの支援をしたいと考えている。ひよこ会については資格者を週2回派遣する。

Q 運動教室講師派について

A 道補助事業で昨年3回実施した。参加者からの評判がよいので、本年度も村単独で3回程実施したい。特に女性参加者を増やしたい。

Q 幌呂墓地給水工事について

A 給水状態が悪いので、現在の既設管から分水したい。

Q 小型家電回収ボックスについて

A C D ラジカセ等希少金属回収可能物についての回収ボックスを村内3ヶ所に設置します。

農林産業費

Q 乳質奨励金の転換は？

A 出荷乳量に対して86%程度まで減少している。それは消費動向にも左右されている面があるので、当面現状維持をして行く。

Q エゾシカ残滓ボックスまでの除雪を！

A 現場確認を行いながら実施いたします。

商工費

Q ブドウの苗木50本でなくもっと多くの苗木の購入を！

A 検討いたします。

土木費

Q 移転補償費について

A 補償費として、1戸当たり95,000円で6戸分である。

消防費

Q 防災無線撤去について

A 現在までの役場内防災無線送信機の撤去費用であり、個人宅の受信機については、もうしばらく時間の猶予がほしい。

Q 非常時用機器購入について

A 1000kW 投光機（イベント使用も可能）やポータブル水洗トイレ、テント等を購入する。



安心・安全のために

教育費

Q ファミリースポーツセンターの利用について

A センターが使用できない間、鶴小に管理棟を設置し使用することになると考える。

Q 親子給食体制について

るが、新体制は今後検討する。

Q 地産地消・エゾシカ肉の利用は？

A エゾシカ肉の調理が得意でないか、地産地消や食育の観点からも新年度には栄養士に検討させる。

諸支出金

Q 山林購入費の今後の対応は？

A 村有林の隣接地ということで購入したが、今後も購入は慎重にする。

歳入

Q 固定資産見直しについて

A 3年に1度の課税標準の見直しで、家屋（減少家屋）と償却家屋の減額分である。

Q 土地売りの払い収入について

A 鶴居市街2地区500万円、面積は140坪×2ヶ所



平成24年3月9日～16日

3月定例会

諸般報告 議長
一般質問 6名

行政報告 村長・教育長
議案等審議 26件

諸般報告

松井議長より、2月14日開催の北海道町村議会議長会理事会並びに、2月20日開催の釧路町村議会議長会2月定例会について報告がなされ、そのあと各広域議会より報告がなされました。

北海道町村議会議長会理事会

平成24年度事業計画並びに歳入歳出予算を協議し、全会一致で可決決定し、全国過疎地域自立促進連盟北海道支部役員の選任についても、4名の理事が選出されました。

釧路町村議会議長会2月定例会

平成24年度事業計画並びに歳入歳出予算を協議し、全会一致で可決決定いたしました。管内の議員研修会につきましては、11月21日・22日の両日、弟子屈町にて開催する事に決定致しました。

釧路広域連合議会2月定例会（2月21日）

平成24年度釧路広域連合一般会計予算を、歳入歳出それぞれ11億7,229万円で可決し、本村の負担額は1,301万円で、前年度より245万円ほど減額されました。

次に、広域連合条例の改正が行われ原案通り可決いたしました。

釧路北部消防事務組合議会臨時会（2月28日）

専決処分は、損害賠償額（13万円）を定めることについてであり、承認されました。

議案の審議は「救急工作車の損害賠償額（30万円）について」・「北海道市町村総合事務組合規約の変更について」・「職員の給与に関する条例の改正」・「長期継続契約を締結する条例の制定」・「北部消防事務組合手数料条例の改正」・「平成23年度北部消防事務組合一般会計補正予算」そして、平成24年度北部消防事務組合一般会計についてであり、全て原案通りに可決承認されました。尚、予算合計は8億845万円で本村の負担額は1億5,819万円であります。

行政報告

日野浦村長より4点ほど報告がありました。

まず初めに、釧路根室広域地方滞納整理機構の収納状況は、負担金を超える収納実績であります。

2月12日に開催されました《タンチョウフェスティバル》又、2月23日山崎直子さんを講師に「鶴居村づくり講演会」を開催し、共に村内外から多数の方が見えられ盛大に行われました。

平成24年度の補給金単価及び限度数量の決定であります。酪農畜産関係者が納得できるような決定を期待いたします。

教育行政報告（P18～P19参照）

国安教育長から全国学力テストの最終報告がなされましたが、座談会で報告に代えさせていただきます。



夢いっぱいのお話



3月定例会 議案審議Q & A

条例改正

- 北海道市町村総合事務組合規約の変更
道の規約改正にともなう改正です。
- 税条例の一部を改正
たばこ税率が変更され、村の収入が増えます。また、25年度から10年間、防災および震災の復興費用確保のために均等割り分の住民税が500円上がり、一人3,500円になります。
- 情報通信基盤施設の設置・管理に関する条例の制定
光ケーブル設置による情報ネットワークの運用等に関する新しい条例が制定されました。
- 介護予防・生活支援事業条例の一部を改正
低所得者の食費に関する負担が少し緩和されました。
- 介護保険条例の一部を改正
24年度から3年間の介護保険料が月額4,895円から5,630円に上がります。
- 営農用水事業条例の一部を改正
茂雪裡・下雪裡地区が簡易水道事業に統合されたための変更です。
- 村営住宅管理条例の一部を改正
国の入居条件の廃止にともなう改正です。本村は今まで通りの入居条件となります。
- 簡易水道事業設置条例の一部を改正
茂雪裡・下雪裡地区が簡易水道事業に統合されたための変更です。
- 水道事業給水条例の一部を改正
茂雪裡・下雪裡地区が簡易水道事業に統合されたための変更です。
- スポーツ振興助成条例の一部を改正
国の法改正に伴う改正です。

質 疑

- 問 防災および震災の復興費用確保のために26年度から10年間、村民税が500円上がるが、国会の答弁で各自治体に判断を委ねるとの発言があった。本村が500円上げる根拠は？
- 答 税の全国一律の均一化、公平性もあり、震災の復興のためでもある。本村の自主財源が乏しいというところもある中での判断です。
- 問 光ケーブルを破損した場合、かなり高価な損害賠償額になるのか？
- 答 損害の程度にもよるが、数十万円以上になると思われる。注意を呼びかけています。
- 問 民間の事業者によるインターネット接続サービスの契約戸数が300戸以上になると、村の情報ネットワーク設備の維持管理費の負担がなくなると聞いていたが、現在の契約状況は？
- 答 現在、契約数は300戸を越えているが、IP電話の関係や基地局の光熱費などもあり、維持管理費は年間、数百万程度持ち出しになります。
- 問 一部地域が営農用水事業から簡易水道事業への変更になります。その場合、農家以外の人々が新たに住宅を建てる場合にも、家までの上下水道の配管を工事してあげるのか？
- 答 今回の変更は水道法上のことであり、今まで通り、本管からの配管工事費は自己負担になります。現在は営農者も配管工事費は自己負担になっています。

指定・認定

- 鶴居村パークゴルフ場に係る指定管理者の指定
名 称 株式会社 鶴居村振興公社
代 表 者 代表取締役 増子 勝博（平成24年3月16日現在）
指定期間 平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
- 村道路線の認定
下幌呂の夢の杜団地の道路57.6mが村道に認定されました。



楽しいパークゴルフ



3月定例会 議案審議Q & A

補正予算

- 平成23年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ3,516万9千円を減額し、総額39億8,207万8千円とする。
おもに年度末の確定による補正です。
- 平成23年度水道特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により335万5千円を減額し、総額3,702万5千円とする。
- 平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により189万5千円を減額し、総額8,260万6千円とする。
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により1,234万4千円を減額し、総額3億4,575万1千円とする。
- 平成23年度診療所特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により23万2千円を追加し、総額8,709万8千円とする。
- 平成23年度介護保険特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により2,493万1千円を減額し、総額2億3,905万3千円とする。
- 平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算
おもに年度末の確定による補正により54万1千円を追加し、総額2,566万9千円とする。

質 疑

- 問 子供手当は3月末までに申請しないと昨年10月以降分が支給されなくなるが、本村の申請状況は？
- 答 支給該当者全員が申請済みです。
- 問 道で薦めている教員の公務支援システムの導入は？
- 答 検討した結果、現時点でのメリットが少ないため見送ります。
- 問 地域活動支援センターの精神保健福祉士の賃金減額の理由は？
- 答 精神保健福祉士の募集をしたが応募がなかった。住民課福祉係が対応して業務にあたりました。
- 問 今年度から住宅用太陽光発電システムへの補助を行っているが、減額補正になっている理由は？
- 答 当初3件分を見込んでいたが、2件の実績に終わった。今後PRに努めたい。
- 問 国民健康保険税の滞納分の差し押さえした件数は？
- 答 差し押さえ等の措置はありません。
- 問 施設介護サービス給付費が大幅に減額されているが、施設介護から自宅介護にシフトしているからなのか？
- 答 当初、44名見込んでいた施設入居者が減少したための減額で、本村ではほぼ100パーセント施設に入居できている状況です。

2月臨時会の議案審議

平成24年2月17日に開催された第2回臨時会の議案審議は以下の通りです。

- 専決処分の承認（税条例の一部を改正）
東日本大震災に係る特例についての改正です。
- 平成23年度一般会計補正予算
除雪費用の増額など、726万5千円を追加し、総額40億1,724万7千円とする。
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算
負担金などの確定に伴ない、486万2千円を追加し、総額3億5,809万5千円とする。
- 平成23年度介護保険特別会計補正予算
介護保険システム導入委託費用が一般会計から移行されたことにより、556万5千円を追加し、総額2億6,398万4千円とする。
- 副村長の選任
議長を除く9名で投票した結果、賛成9票、反対0票となり、大石正行氏（51歳）が副村長に選任されました。任期は4年間です。（大石氏は3月27日に辞職をされ、現在は空席です。）



早朝よりご苦労様

一般質問

村政のここが聞きたい

6人の議員が12項目の質問

質問・答弁ともに要旨要約して掲載しました

地域福祉計画を樹立して福祉の将来展望を示すべきでは？

短期的・中期的・長期的な計画目標のヒアリング実施中！



武藤議員

本村の福祉は年々充実されていますが、現在、急激に進行する少子高齢化に対応する為には、はたして現状の体制の継続で乗り切れるのか非常に心配されるところです。

そこで、本村においても地域福祉計画を樹立して、今求められている住民及び社会ニーズに対応していくべきと思いますが、以下の点について、ハード、ソフト両面において将来展望をどの様に持たれているのか、考えを伺います。

- ①高齢者福祉について
- ②障がい者福祉について
- ③児童福祉について
(特に未満児保育)

日野浦村長

地域福祉計画に代わる計画として、

- ①高齢者福祉では、「鶴居村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」
- ②障がい者福祉としては、「鶴居村障がい福祉計画」
- ③児童福祉としては、「鶴居村次世代育成支援行動計画」

を策定しており、村として単独の地域福祉計画を策定する考えは、今のところありませんが、議員指摘の住民ニーズや社会ニーズについては、そのニーズをいかに把握するか、その方法を模索しなければならぬと考えています。

また、現在住民課内で所管する医療・保健・福祉・介護・衛生等に関する事務・事業につきまして、3年を目途とした短期的な計画目



みんなで支えるひよこ会

標、5年を目途とした中期的な計画目標、10年を目途とした長期的な計画目標のヒアリングを実施中であり、その中でそれぞれ必要なソフト事業やハード事業の検討や事務・事業の見直しを含め、合わせて整理しているところであります。

現時点で、ハード・ソフト両面での将来展望を早急に取りまとめる必要は理解していますが、選挙の関係もあるので答弁を控えさせていただきます。

なお老朽化に伴う保育所や診療所の改築、あるいは地域から必要とされる高齢者向け住宅等の新築などは、鶴居村総合計画などとの整合性を図りながら対応して参りたいと思います。

議会だよりに対するご意見・ご要望をお寄せください!!

次回定例会は6月中旬頃の予定であります。

(6月定例会は、新村長の村政執行方針並びに教育長より教育執行方針が表明されます。)

議会事務局

TEL (0154) 64-2116 メールアドレス TURUIMURA@yahoo.co.jp



観光都市として、外国語標記の案内看板を！

設置に向けた調査を行います



佐藤議員

今や世界各地から外国人が鶴居村を訪れております。

特に、音羽橋や鶴居どさんこ牧場・キラコタン岬などについては、海外までも名が知れ渡っており、観光案内看板については最低、英語表示が必要で、出来れば北京語やハングル表示も必要と考えますが考えを伺います。

日野浦村長

議員ご指摘の通り、鶴見台や伊藤タンチョウサンクチュアリ・音羽橋において



歓迎の気持ちが見える形で

は外国人のカメラマンの姿も多く見受けられます。その他大型バスを利用した外国人観光客も訪れております。

この様なことから、今後の観光振興策の一環として、村内の観光スポットの調査を行い、その結果を基に観光協会とも連携をしながら対応を検討して参ります。

役場庁舎内に案内人の配置を！

人員配置は困難。職員の接遇意識向上に努めます。

佐藤議員

本村も平成27年には65歳以上の高齢者が30%を超えようとしております。

来庁される全ての方が高齢者ではありませんが、役場に来た方の案内をする行政経験豊かなボランティアフロアーコンシェルジュ(案内人)の配置を検討できないか伺います。

日野浦村長

1日の来訪者が数百人を超えるような自治体や行政窓口、総合病院などではかなり広範囲に導入されております。本村は1日30名程度であり、本件の人員配置は難しいと考えます。来庁者に対しては、職員の接遇意識向上に努めます。

1P告知電話講習会の参加状況、対応は？

電話帳は作成せず、連絡網は会員の同意のもと対応！

佐藤議員

平成21年から始まった鶴居村高度情報通信網整備事業も今年度末の完成を目指して最後の工事に取組んでいるようですが、現在の工事の進捗状況と、村内各地で開催されている「1P告知電話講習会」で参加者からどのような疑問や感想が聞かれますか、伺います。

日野浦村長

操作説明会については村内老人クラブ6ヶ所、会員80名、地域説明会参加者20名であります。

参加者からの声としては、電話番号の公表と電話帳の作成を望む声が聞かれます。村としては電話帳は作成いたしませんので各自で確

認をして頂きたい。又、老人クラブの連絡網として活用する場合は、会員の同意を得て役場に要望をして頂くこととしております。

タンチョウの記念事業は？

予定していません！

佐藤議員

本年度は、「阿寒湖のマリモとくしろのタンチョウ」が文化財保護法上の特別天然記念物の指定を受けてから60周年になります。

つきましては、区切りの年でありますので関係した取り組みを検討すべきと思いますが考えを伺います。

国安教育長

村としては、タンチョウに関する記念事業は適時行つてきており、60周年の記念事業は予定してません。

少子化対策の中で高校生を持つ保護者へ支援を！

今のところ支援は困難と考えています。



松井(洋)議員

厚生労働省から2060年には日本の人口が8千674万人になり、65歳以上の割合が4割に達するとの予測が発表されました。超高齢化の更なる進行が予測されたわけです。

人口減少の原因は、女性が生産子数を産み育てる費用が莫大であるためだとも言われています。

現在鶴居村では子育て支援の強化拡充をあげ、若者が安心して子供を産み育てられる環境を作るため様々な施策を講じています。

その中で、今回は高校生を持つ保護者への支援につ

いて伺います。高校がない鶴居村の多くの学生は釧路市に進学しています。その場合、近隣の町より2.5〜3倍の通学費がかかり、月に1〜2万円ほど多くかかることとなります。この格差を是正する何らかの支援が必要だと考えています。

長引く日本経済の不況でデフレが進行し、実質賃金が目減りしている状況で、さらに消費税の増税や老後の不安など、とても安心して子供を産み育てる気にならない日本ですが、鶴居村ならではの少子化対策で元気な子供がいっぱいいる村にしたいと思っています。

そこで、鶴居村に籍を置いている高校生の保護者に対して支援ができないか伺います。

日野浦村長

鶴居村には高校がありませんが、本村の中学校卒業生はバスで釧路市内へ通学する生徒が大半を占めています。このほか標茶町内の高校へ通学する生徒や、部活動等の関係で釧路市内に下宿する生徒もいます。また札幌市内等、遠距離の高校を選択し下宿する生徒もいます。

ご指摘のように近隣の他の町と比較して釧路市内に通学する場合、通学費用がかなり高いのは事実ですが、国は高校の授業料の無償化を昨年4月から実施し、すでに一定程度保護者の負担軽減が図られていること、さらに本村の特徴である児童福祉対策として、中学生までの医療費無料化や保育園の利用料が月額1万円と管内では類を見ない安価な利用料となっていることなどを総合的に考えたとき、今のところ高校生を持つ保護者への支援については困難と考えています。

● 傍聴席から ●



進学への負担を少しでも軽く

今回は、鶴居小学校6年生の皆さんと一般の方3名が傍聴にきていただきました。特に一般質問が、「高校に通う生徒に対しての支援」と言う事でしたので、大変興味を持って傍聴をして頂きました。一般の方3名につきましても誠に有り難うございました。

瀧澤快部 学校の委員会と似ているが、村議会は僕たちの住んでいる村を良くするために議論している。

佐藤涼太郎 議員さん方は、子供からお年寄りまでのことをしっかり考えてくれていた。村のことを良く知っている。

西村 駿 高校生を持つ家庭に支援できないかという問題は、難しいという判断だった。この問題は以前にも出ていて、何回もやることは大事なんだと思った。折笠友哉 議員さんは、それぞれ色々な立場の人のことを考えているから、偏らない良い政策ができる。

野田晴都 あの場合議員さんたちが村人のことをじっくり話し、実現しようと頑張っていた(ねばっていた)。



健全な肉体から

事故のないしっかりとした指導を

指導計画に沿った安全点検の励行に努めます



吉田議員

2中学校の対応について、又、ダンスについても必修化されますが、フォークダンス・ジャズダンス・ストリートダンス等があります。同じく対応等について教育長の考えを伺います。

国安教育長

新しい学習指導要領の完全実施に伴い、新年度から中学1・2年生で必修化される武道は、柔道・剣道・相撲の中からの自由選択であり、対応は様々であります。

報道では、事故、指導者の不足等、安全面が懸念されております。

すべての生徒が武道の特性に触れ、わが国の文化や伝統を尊重する態度を身につけることができるよう、武道授業の充実を図っていくことが大切であります。鶴居中学校では、柔道をダンスは創作ダンス及びフォークダンスです。幌呂中学校は剣道を、ダンスはヒップホップを中心に指導計画を立てています。教育委員会といたしましては、両校での指導計画が円



面一！

武道

武道は、武技・武術から発生したわが国固有の文化であり、相手に応じて、技を身につけ攻撃や防御をすることにより、勝敗を競い合う楽しさを味わう運動です。また、武道に積極的に取り組むことを通じて、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを重視する運動であります。

「協働」で作る村づくり

住民の知恵を村政に生かす

吉田議員

日野浦村長

滑に、スムーズに実施できますように環境整備・施設・

設備の充実と安全点検の励行に努めます。

個性で魅力ある地域形成を図るため地域自らが発想し、知恵を出し合い工夫を凝らし《元気な村つるい》を目指し、将来に夢と希望の持てる郷土を地域住民と協働で創る新たな発想も必要と思いますが、

少子高齢化社会がこの地域でも現実になっているのが明らかです。その状況下で、住民の知恵を生かしながら村づくりを行うことは、まさに《元気な村つるい》の原動力になると思います。

①酪農をはじめとする産業振興について

①各種振興策を基礎とし、関係機関と連携し、それぞれの時期に適合した対策を講じてまいりたい。

②安心して暮らせる村づくりについて

②住民の皆様の意見を拝聴し安心と安全を確保し快適な村づくりを推進。

③《美しい村つるい》の自然環境の取り組みについて

③環境との共生を図り、地域の活力を高めていくことを目指しています。

村長の考えを伺います。

③環境との共生を図り、地域の活力を高めていくことを目指しています。

健全な精神は

柔道の必修化に向けての対応は？

安全面に配慮し環境整備、指導方法を工夫！



国安教育長

来年度の取り組みについて伺います。

及川議員

平成24年度より

中学校において新学習指導要領が実施される

こととなり、それに伴い武道の必修化が開始されます。武道においては生徒の授業中の事故に対して、その発生確率が格段に高く問題視されています。

鶴居村においては、すでに柔道を選択し、先行して実施していることのことですが、その実施状況をお伺いしたいと思います。また本年度の指導経験を踏まえ、

鶴居村中学校においては、平成22、23年度年度において柔道を先行実施しました。

まず、指導教諭につきましては、保健体育全分野を指導し実践を積み重ねています。また、道教委で開催された研修会を受講しております。

柔道着は人数分を確保し、終了した段階で各自洗濯をしたのち、他の学年に使用しています。

安全面では3点について配慮しております。

1点目は、授業時間は2時間扱いとし、十分な時間を確保しています。

ダンス

ダンスは「創作ダンス」・「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通して仲間とのコミュニケーションを豊かにする事を重視し、又、自己を表現したりすることに、楽しさや喜びを味わうことの出来る運動です。



柔よく剛を制す

の技の連絡変化へと進むようにしています。

2点目は年間11時間扱いですが、基本動作、受け身、投げ技、固

め技、試合形式

3点目は、3クラス編成にし、同レベルでできるように段階を分けています。

この様に安全な武道授業に向けて環境整備、指導方法の工夫を図っています。

給付型奨学金制度の創設は？

原資の負担拡大が必要で困難！

及川議員

鶴居村においては、教育費の負担軽減と教育機会の均等を図るために、教育資金に対し利子補給する制度が独自に制定されています。しかしその制度利用者は一部にとどまっている印象を受けます。

利子補給は資金返済時においては有効な施策と考えますが、現実的には在学時に多くの負担が生じます。より在学時に有効な制度の検討をできないか伺います。

国安教育長

鶴居村育英協会の貸付廃止にあたっては、対象者が

高校生のみであることや、実績が極端に少ないことで見直しにあたっては、対象者が高校生のみであることや、実績が極端に少ないことで見直しとなったところ

無利子、低利の奨学金の創設については、現行では日本学生支援機構の教育資金があることや、鶴居村育英協会の原資を拡充すること、村や共同出資者の農協の新たな負担拡大となるため困難であると考えています。



おいしい牛乳を飲みたい

現段階においては検討する環境ではない



大津議員

平成16年の加工施設建設の目的に、本村の良質乳はそれ自体が《食の安全》に最も適合するものであり、本村としては《牛乳》を抜きに特産品開発はありえないと書いておりました。

その後、学校給食に提供すると、ハサップ等の衛生管理の面から数名の職員の雇用が必要となったり、設備投資の問題からも、「費用対効果」に見合うだけの消費拡大が望めないということで飲用乳の製造販売は見送られました。



鶴居産が飲みたい

しかしながら、将来においての飲用乳の販売については引き続き検討し、製造ラインは残しておきますとの話でありました。

そこで、本村のチーズは日本で一番おいしいとの称号を頂いており、取りも直さず良質の生乳である証明がなされたわけであります。

村民はもちろんの事、多くの観光客からも今まで以上に地元の牛乳が飲みたいとの要望が寄せられております。

平成16年当時と比べると、

ハサップ法についても緩和がなされ、容器についても安価なものが出ており、コストの削減が図られるものと思います。

この様なことから、牛乳の製造販売に踏み切るべきと思います。

また、当面は効果が上がらない状況も説明をして、住民アンケートを行うべきだと思いますが伺います。

日野浦村長

鶴居産牛乳の製造販売については、平成17年度《鶴居村乳製品開発検討委員会》を設置し種々検討いたしました。

その結果、管理基準が厳しく、また、需要拡大も厳しくコスト高となり、製造を断念いたしました。

牛乳に関する需要環境は、平成17年よりさらに厳しい状況下であり、現段階ではアンケートも含め牛乳の生

産を検討する環境ではないと考えます。

ただ、チーズについては高く評価され地位を確立しつつありますので、将来的にはチーズに続く新たな付加価値をつけた乳製品等の開発を検討する中で、地元

産牛乳についても考慮したいと考えます。



オーストリアでは、牛乳の自販機があります。



パック売りではなく、入れ物を各自用意して買いにきます。



全員協議会活動報告

● 下雪裡コミュニティセンター改築

住民課長より、下雪裡コミュニティセンターの改築について説明がありました。建築後37年を経過し老朽化が著しく、地域住民からの強い要望もあることから現在検討しているところです。



下雪裡コミセン

● 第5期介護保険料

住民課長より、24年度から3年間の第5期介護保険料について説明がありました。鶴居村は少子高齢化が進んでいることから735円値上がりの月額5,630円となります。鶴居村は介護保険料が高いのですが、介護施設入居の待機者が少ないことや独自の福祉政策などメリットも多くあります。

● 24年度各会計予算概要

副村長より、24年度の各会計予算概要について説明がありました。総額43億4,630万円の予算規模となりますが、村長選挙を控えているため、骨格予算となっています。

● 議会改革

議会報告会について協議しました。これからも継続して協議を続けます。

委員会活動報告

● 議会運営委員会

3月2日に議会運営委員会を開催しました。3月定例会の日程等について協議しました。

議員が参加した諸行事

● タンチョウフェスティバル

2月12日にタンチョウフェスティバルが開催されました。タンチョウ耐寒競技や人間ばんば競争など、参加者が熱く頑張っていました。

● 林活議連

2月20日釧路市工業技術センターでの釧根林活議連の研修会に参加しました。

● TPPに関する講演会

2月27日全日空ホテルでTPPに関する講演会に多くの議員も参加しました。講師は東京大学大学院教授の鈴木宣弘氏。



断固反対

● 小・中学校卒業式及び入学式に出席

● 白糠町議会懇談会の視察

3月27日に白糠町議会主催の議会懇談会を視察しました。今後の議会改革に役立てます。



旅立ち



真剣なやりとり



みんなで育て・みんなで歩んだ 「教育の鶴居」へ

司会 鶴居村は、全国学力テストの結果が、全国平均を上回っております。

そこで今回の、《協働レポート》は《長年にわたり学校・家庭・地域・行政と協働で作りに上げてきた「鶴居の教育」についてお話を聞き致します。先ず初めに、今回の結果についてお伺いいたします。



国安 過去には小中学校が8校あり、たくましい(主に体育面)児童生徒が育つていました。父母・地域住民の協力により特色ある教育をおこなっていて、現在より児童生徒、家族数ともに多く、切磋琢磨する教育条件がありました。

現在は小中5校体制になっていますが、児童生徒数に対する教職員数が多く、個に合わせた教育ができるようになっています。さらに、それぞれの学校がまとまっており、校長以下教職員が同一方向で一致した体制で指導できています。

また行政、教育委員会、学校の方針が連携していて、このことが各校の教育方針の具現化につながっています。次に学力テスト結果については、小学校は過去と比較し一番成績がよく、特に「活用」

釧路管内と全道等の平均正答率

	小 学 校				中 学 校			
	国 語		算 数		国 語		数 学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
全道平均	73.1	36.2	78.0	42.2	78.0	62.4	54.7	47.4
釧路管内	72.2	35.4	78.9	41.7	77.5	61.1	53.9	46.7
中 核 市	75.1	39.2	78.9	44.4	78.4	63.2	55.9	49.6
その他市	73.2	36.6	78.2	42.1	77.9	62.0	55.0	47.0
町 村	72.5	35.1	78.1	42.2	78.1	62.9	54.4	47.5

が高くなっている、回を重ねるごとに顕著になっていきます。「活用」の成績が良いことは他教科にも波及していると考えています。このことは朝学習・読書活動・総合的学習による発展的、継続的学習の効果によるものと考えています。次に中学校ですが、より成績がよく、やはり「活用」が小学校以上の好結果となっています。このことは小学校からの積み重ねの成果が大きいことと、学年の発達段階に合わせた指導の効果と考えています。

学力の向上は児童生徒の将来の進路の選択肢が増えることにつながります。また学力だけでなく「心・技・体」「知・徳・体」のバランスのとれた発達も重要視しています。



加藤 まず校長会の意識が高く「教育の鶴居」の発信を目指しています。

教育の視点として、日頃の授業を大切にすることに努めています。これは学校内に大きな問題がないことも好影響しています。

次に教師の授業力を高めることです。個々の実態に合った授業方法の構築に努めています。家庭学習の習慣化については、方法の提示(家庭のバックアップを含む)を行っています。

庄子 鶴居中では学力の部分だけでなく、全教育活動での成果を目指しています。

小学校教育の成果を踏まえて「知・徳・体」の向上を目指し、人間まるごと育てることに努めています。

そのために教職員と「3つの約束」をしています。

これは①進路を見据えた指導です。これは学力につながり目的意識を育てることです。

②おもいやり③生きる力の元となる健康・体力を作ることです。

そして教職員には当たり前のことを徹底することを指導しています。

高田 釧路管内においては学力向上策が模索されています。このような状況の中で鶴居小においては、読書活動の継続等の効果が大きいと思います。また、新学習指導要領において、さらに指導内容が増え、特に5年生の内容が多くなっています。個に合わせた指導を重要視し、落ちこぼれを作らないことが大切と考えています。

司会 次に、教師の指導力の向上が大きな要因となってい

ます。

加藤 「鶴居村教育研究所」が教職員の力を高める場となっています。「鶴居村教育研究所」は、鶴居村の教職員同士が授業力を高めるために年間を通じて、計画的に学習しています。そのことも、鶴居村の子供たちの学力が高いことの一因となっていると思っています。また教育委員会の指導し支援する体制、小学校同士、地域のバランスもしっかりしています。

そして各学校での研修内容が全体にフィードバックされています。

国安 「鶴居村教育研究所」については、まず村が予算に

協働レポート

教育座談会
「鶴居の教育」から

出席者 国安修一 教育長

加藤淑江 鶴居村教育研究所長(鶴居小学校長)

庄司 剛 鶴居中学校校長

高田勝也 鶴居小学校PTA会長

(文中も含めて敬称略させていただきます。役職名は平成24年3月現在のものです。)

司会 保育園・小
中学校と地域との
連携についてお伺
いいたします。

現在、鶴居村に
おいては特別な課
題はなく、そのこ
とが良いいものを継
続・維持する基盤
ができています。こ
れは教育委員会の指
導方針が各校にしつ
かり伝わり徹底し
ている要因であり
ます。



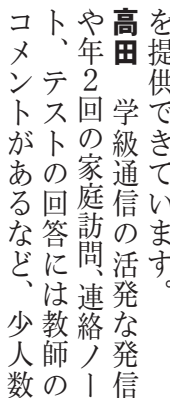
配慮してくれてい
ます。そして自主
的学習の場となっ
ていて、教師力を
高めることにつな
がっています。現
在10部会で活動し
ています。

平成24年度は北
海道教育大学釧路
校とのアドバイザー
協力「鶴居プロジェ
クト」をより進め、
自由に教育現場と
の交流実施を図り
ます。

国安 教育行政執行方針を6
月議会にて行います。
その中では北海道教育大学
釧路校のプロジェクト・チー
ムが鶴居村教育研究所の部会
へ参加し指導、助言にあた
ります。また教育の懇談会・シ

司会 最後に今後の鶴居村の
教育について、お願い致しま
す。

高田 学級通信の活発な発信
や年2回の家庭訪問、連絡ノ
ート、テストの回答には教師の
コメントがあるなど、少人数
学級ならではの、きめ細かな
対応が行き届いています。



学校行事・部活のサポート
は、地域が「生徒が輝ける場」
を提供できています。



加藤 日常的に学校間の交流
があります。小学校から保育
所へは特別支援学級児への入
学までの準備・しつけを、中
学校へは①成長の確認、②授
業への集中、③生徒への支援
の確認等を行います。

国安 保育園・学童保育の増
加にみられるように、教育が
人を呼び寄せていることは鶴
居村の財産だと思っています。
しかし新聞等の報道が先行し
ないように配慮も必要だと思
います。

また不得手なことは避けて
通る傾向があるように感じま
す。キャンプなどは子供たち
の自主性を伸ばす場であり重
要と考えます。そうした中で、
学力ではない総合力はまだま
だ伸びる余地があります。



高田 豊かな心
をはぐくむこと
が重要と考
えています。そ
うした中
で体力は全
体的に低下
している印
象を持ちま
す。

加藤 維持・向上に努めなが
ら、「教育の鶴居」を目指して
ひとつにまとまって進みたい
と思っています。

そして学力だけでなく総合
力・「知・徳・体」のバランス
のとれた成長を目指します。



司会 本日は皆様まことにあ
りがとうございました。

鶴居村の教育は基礎、基本
が出来上がっている、今
後もレベルの維持が可能と考
えています。そして家庭との
協力、連携の下「総合力」の
レベルアップを図っています。

目指すは、学校や教育関係
者が「チーム鶴居」としてま
とまり、名実ともに鶴居の
教育から「教育の鶴居」を確
立していくことでもあります。

今後におきましても「むら
づくりはひとづくり」を基本・
根底に据えた教育を推進して
いきたいと考えております。

そのためには、学校・家庭・
地域との連携を図り、村を挙
げての支援体制並びに村ぐる
みの教育を展開していくため
に、教育委員会が強力なリ
ーダーシップを発揮していく
とともに、村民各位、議会、村
理事者のバックアップをお願
いします。



村議会の動き

- 1月12日 広報委員会
- 1月18日 議員会新年会
総務常任委員会
- 1月19日 広報委員会
- 2月13日 第1回臨時会
14～15日 町村議会議長会理事会
(札幌市)
- 17日 第2回臨時会
全員協議会
- 20日 釧路町村議長会
2月定例会
- 21日 釧路広域連合議会
2月定例会
- 28日 釧路消防事務組合議会
2月定例会
- 3月2日 議会運営委員会
9日～16日 定例会
- 16日 広報委員会
- 21日 広報委員会
- 26日 釧路公立大学事務組
合3月定例会
- 27日 広報委員会
- 28日 議会懇談会視察
(白糠町)

広報調査特別委員会

- 委員長 大津 泰則
- 副委員長 佐藤 吉人
- 委員 松井 洋和
- 委員 及川 満浩

鶴居村議会議長
松井 宏志

鶴居村社会福祉協議会の現状

鶴居村社会福祉協議会
会長 鵜橋 忠輝



近年、少子高齢化が進行する中において、隣近所が気がつかない中での孤立死や老夫婦の自殺等が多発しております。

この孤立化現象は、個人情報保護法の施行が大きな要因のひとつとも考えられますが、何よりも人命が第一に優先されるべきであると考えております。

このような孤立死などを省みる時、福祉の基本である「ともに支えあう、安心、安全な日常生活を送れる地域福祉で町づくり」を推進することの必要性が非常に高いことを感じております。

現在、当協議会は、基本理念である社会福祉の健全な発達と活動の活性化により、地域福祉の推進を図るということを念頭に置きながら、会の運営、基盤の整備・社会福祉に関する連絡・調査研究、事業企画等社会ニーズに応じた社協活動を展開しています。

平成24年度は、①様々な課題解決のための施設整備に向けた検討要望、②社協職員が地域に出向き、地域の人・環境・福祉課題等を把握すること、③高齢者、子育て世代、障害のある方やその家族等が地域に住み続けられるような、在宅福祉サービスの充実、④ボランティア活動の活性化及び児童・生徒のボランティア活動の推進、以上4項目を重点として取り組んで参ります。

引き続き、鶴居村社会福祉協議会が要望しております施設整備については少子高齢化社会に中であって、独居高齢者の引きこもり対策や孤立死現象の防止等を目指すサロン等の場所として活用できる、様々な課題解決のための施設をぜひ整備していただきたいと思います。

終わりに、平素より村民の皆様には本会の様々な取り組みに対しご支援・ご協力を頂き、心よりお礼を申し上げます。

感

謝

日野浦村長は、帯広畜産大学卒業後、昭和44年4月鶴居村役場に奉職され、教育委員会管理課長、商工観光課長、産業課長を歴任され村長になりました。

その間、草地改良を熱心に指導され、また、ご牧場建設に携わり大規模酪農経営発展の礎を築かれるなど多岐にわたり村の発展に貢献されました。

平成16年、合併協議のさ中、健全経営を目指しての

自立を目標に村長になられ、住民の意見をよく聞き、議会とも真摯な議論を交わし、数多くの事業を成し遂げられました。

酪農体験施設「酪楽館」でのチーズの評価は日本一の折り紙つきであります。

また、「日本で最も美しい村連合」への加盟を果たし、地域情報化推進事業はこの3月に工事が完了し、4月より供用開始しました。

昭和44年から本日まで43年の長年にわたり、鶴居村に貢献され、村の振興発展にご尽力頂きました事を心より感謝いたします。